

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
「話を聞いて詳細を理解することができるか」をみる問題	20.70%
「伝えたい内容を正確な英文で書くことができるか」をみる問題	29.90%
「位置を表す前置詞を理解しているか」をみる問題	25.30%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
「メール文を読むことについて、積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか」をみる問題では、95.40%の正答率であった。	聞くことや、書くことにおいて大まかな内容をとらえたり書いたりすることはできるが、細かい内容を聞き取ったり正確な文法を用いて表現する力に課題がみられた。意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養いつつ、学習した文法に関して実践的な活用を図る指導が必要である。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
落ち着いた学校生活の中で、ほとんどの生徒が話をよく聞き、授業に集中して前向きに取り組んでいる。また、生徒間でコミュニケーションを図りながら苦手な生徒をフォローする様子も見られ、互いに学び合う姿勢が育っている。定期的に小テストを実施し、そのフィードバックを行うことで基礎的な力が定着してきている。	課題に感じることは文字を使って読み・書く技能を身につけることである。文法やスペリングなどの正確さが必要となり、単文から複数の文、まとまりのあるパラグラフへとステップを踏んで積み上げ、弱い部分を発見補強するていねいな指導をしながら進めて行くことが肝要である。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	小学校の英語活動の時間の成果を受けて当初から聞く話す学習に前向きに取り組もうとしている。一方で家庭学習の習慣がついておらず語いを着実に増やしていくことが課題である。	1学期に行ったペアワーク活動で聞く話す活動を継続しながら、2学期からは毎時間スペリングテストを行い、基本的な単語を少しずつ確実に身につけ、基本文のノート作りで文法を押さえつつ英語を使う力を育てる。
2年生	コミュニケーション活動に意欲的に取り組む生徒が多く、音読練習やスピーチなどの練習を通して表現する力が育っている。伝えたいことを、学習した単語や表現を用いて書く力が課題である。	パターンプラクティスなどで、基本的な英文を繰り返し練習し定着を図る。また、定期的に、テーマに沿ったライティング活動の時間を設け、単語や表現を運用する力を身に付けていく。
3年生	1文単位で書くことについては、できるようになってきているが、まとまりのある文章を構成を意識して書く力は、まだ充分とは言えない。	3文を1つの単位とした英作文に継続的に取り組ませ、月に一度程度15文程度のスピーチ文及びエッセイに取り組ませる。

●学校全体で取り組む内容

現在の英語教育の方向は、学校を出た後、実社会において英語を使って「話す」「聞く」「読む」「書く」ことを間違いを恐れずに積極的に行う意欲と力をもった生徒を育てることである。このためには、ことばをコミュニケーションの道具として使う態度と技能において「国語」、事実や人の気持ちをコンテンツとして理解し伝えることにおいて「社会」「理科」「音楽」「美術」など他教科と連携した指導が重要となっている。この目的を共有して大きく長期的な視点で計画、実行、振り返り、改善をスパイラルに進める教科指導に継続して取り組んでいく。